



日中の気温が上がり暑い毎日が続きます。保護者や地域の皆様におきましてはくれぐれもお体に気をつけください。本中中の子ども達は猛暑の中にもかかわらず、毎日の学習や部活動に励んでおります。夏休みを前にし、1学期の学校生活の締めくくりを大切に意識する生徒、県大会出場や部活の新チームで練習に励む生徒など、それぞれ次のステージに向けて子ども達は頑張っています。

★北部地区吹奏楽コンクール金賞！★

7/8（土）、北部地区吹奏楽コンクールが名護市民会館大ホールで開催されました。本校の吹奏楽部（14人）が出演し、Railwayの曲を演奏しました。パーカッションの軽快なリズムにのりながら、それぞれのパートがバランスよく演奏し、みごと金賞をもらうことができました。次は県大会に向けて頑張る生徒たちです。



★地域活性化ディスカッション（2年生）★

2年生の職場体験学習（6/13実施）のあと、生徒たちは地域活性化につながるアイデアについてプレゼンを作成し、体験でお世話になったそれぞれの事業所に出向いて発表しました。職場体験を通じた学びを深める取組です。

【生徒の振り返り】※一部修正・抜粋

・地域活性化ディスカッションを終えて、イベントを開催するにはそれなりの協力やお金が必要だと分かった。また、もっと深く考えて、実践しないと行けないことが分かった。本部町の支援や他の飲食店、ICT関連の企業とも協力して、本部町を活性化させるとよいと思った。（2-3上間琉夏）

・現実的には難しいことだけど、いいアイデアと言ってもらえて、グループで活性化案を考える機会だと思いました。企業がコラボすることは簡単ではないことや、仕事の大変さを知ることができてよかったです。（2-3高橋翠）

・元気村のマリンスポーツを広めるために、本部町活性化案のアドバイスや感想をもらって考えることができました。自分たちが考えた案が、もし叶うと思ったらうれしくなりました。またアドバイスをもとに考えたいと思います。本部町をもっといい町にできたらいいなと思いました。（2-1山川杏怜）

★避難訓練★

7/13（木）火災避難訓練が行われました。理科室で起こった火災を想定し全校生徒がグラウンドへ避難しました。全体的にスムーズな避難移動でしたが、クラスによっては並んで行動することに課題がありました。「命」を守るための大切な訓練であることを意識する機会となりました。



【生徒の振り返り】※一部修正・抜粋

・避難訓練を終えて、私はみんなの行動の早さが大事なのだと思いました。一人一人が「おかしもち」を守ることで、被害を減らし早く避難することができると思います。他にも周りからではなく自分から行動することでみんなが避難するきっかけになるのかなと思いました。今回は避難をするのが早かったけど、もし本当に火災がおこった時、冷静な判断をすることができるのか不安に感じたので、火災がおこった時どうするかを常に頭に入れておき、危険を身近に感じながら生活していきたいと思いました。（3-2仲宗根りな）

★全体朝会★

7/14（金）の全体朝会は保健委員会による6月の生徒の健康生活や歯の健康に関する調査報告が行われました。夏休みを利用して自分の健康生活を見直し、むし歯の治療などができるようにしていきましょう。



★本部町少年の主張大会★

7/13（木）、本部町文化センターに町内の中学校代表が集まり、本部町少年の主張大会が開催され、本校からは仲田響さんが出場しました。残念ながら町代表とはなれませんでした。響さんは、空手道を通して自分が成長し努力することの大切さについて、堂々と発表していました。

※裏面に発表文を掲載しております！



「正しい努力」

本部中学校三年 仲田響

「東京オリンピック」選手たちの熱い思いやプレーは日本中に感動を与えてくれました。特に空手の喜友名選手の金メダルは沖縄の人々を元気づけてくれました。私も沖縄を誇りに思うと同時に勇気をもらった瞬間でした。

空手の発祥は琉球王国と言われており、この沖縄から世界に広がりました。空手は「空手に先手なし」という教えがあるように、ほとんどの形は守る受けから始まります。しかし、相手の先手を封じ攻撃を受けてから生するには相手を上回る心の強さや技量が必要になるということです。また、礼に始まり礼に終わる、礼節をととても大事にします。それは、沖縄の人の心にも受け継がれているように感じます。ウチナーンチュの他者を受け入れる優しさや、「イチャリバチョーデー」の心の広さはそれを表しているのかもしれない。

私は小学校三年生から空手を習っています。

小学校四年生の時の大会で優勝し、私はとても強いんだと思っていました。

中学生になり、道場のほかに部活動として空手部に入部しました。道場でも部活動でも自分なりに一生懸命練習したつもりでいました。それでも結果は地区大会は突破できても、県大会では思うような成績を残せずにいました。それでもやっとのことをつかんだ全国大会への切符。しかし第一ラウンド敗退。精一杯やったつもりでも結果が出せず、なぜ負けたのかもわからない日々。それでもやっぱり諦めたくない、勝てる選手になりたいと強く感じたのです。悩んだ結果、私は大きな決断をしました。道場を変えることを決めたのです。この決断が本当の意味での「努力」を教えてくださいました。新しい道場では生徒たちの意識の高さに圧倒され、きつい練習についていくのがやっとなりました。このままの私では絶対に強くなれない。考えを変えようと決心した瞬間でした。その日から私は空手の初心に立ち返り、感謝を忘れないこと、自分自身を見つめなおすなど、日々大切なことを再確認するようにしました。そして、毎日の自主練習、体のケア、メンタルトレーニングなど自分と向き合いながら、追い込む時間を作りました。しかし、練習はどんどんきつくなっていき、そのため私は、楽しそうに遊ぶ友達やのんびりと過ごす家族に対して、いいな、ずるいなと感じるようになりました。そんな私を粘り強く支えてくれたのが母でした。母は私を叱咤激励してくれました。「泣いてる時間があるなら、早く練習しい。やりたくなければやらなければええやん。」と。なんて厳しい言葉だろうと思うかもしれませんが、その時の私にとって、「明日も頑張ってみよう」と思える大きな言葉だったのです。そこから死に物狂いで母と一緒に、ひたすら練習に打ち込んできました。

そして、やってきた最後の中体連。地区大会は優勝。迎えた県大会。第2ラウンドは二位。九州大会をかけた三位決定戦でも破れ、五位という結果で最後の中体連を終えました。全国・九州大会への切符を逃し、悔しい思いですが、これだけははっきりといえます。「努力してよかった」と。「努力して結果がでると、自信になる」「努力して結果が出なくても、経験が残る。」私は結果は出せませんでした。自信と経験を得ることができました。私は「正しい努力」をすることで自信を得られたのだと思います。

「正しい努力」とは自分の決めた夢や目標を自分の意志で叶えるために前へ進むことなのだと思います。自分の力で切り開いていくことです。今思えば、これまでの私は「正しい努力」をしないまま「おごっていた」だけなのだと思います。「正しい努力」は自分の自信と成長へと導いてくれることを教えてくださいました。

誰も努力をしない人なんていないはず。それが大きくてもそうでなくても、自分の目標に向かって努力を続けることはとても素敵なことだと思います。

今、私には全国で優勝し、今よりももっと強くなりたいという目標があります。勝者たちは勝つためにどれだけの努力をしてきたのか、私の想像をはるかにこえるものかもしれません。しかし私はその場所を目指し、少しでも近づくため、空手道から学んだことを胸に「正しい努力」を続けていきます。